

Title: 「gracious days」



gracious.days > 2006年08月 アーカイブ



山口 ゆま
好きな食べ物：寿司、巻、たろうお
趣味：バイト、写真
練習をこよなく愛する20才。

●最近のエントリー

- 📁 やさしきチベットさん
(2006.08.31)
- 📁 ばんだに想いを寄せて
(2006.08.31)
- 📁 ナガルコットの人々
(2006.08.12)

●アーカイブ

- 📁 2007年05月
- 📁 2007年03月
- 📁 2006年10月
- 📁 2006年09月
- 📁 2006年08月
- 📁 2006年07月
- 📁 2006年06月
- 📁 2006年05月
- 📁 2006年04月
- 📁 2006年03月

●ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0

06.08.31

やさしきチベットさん

バンドの生息地と聞いてやってきました四姑娘山。
成都から車で7、8時間のところ。
ここではある山荘に泊まりました。
チベット民族の方が切り盛りしている宿。

着いたのが夜だったので夕飯を食べた。
まちおいしかった！
ご飯はあまり期待してなかっただけに感動した。

次の日は山を登ることに。
バスでいけると聞いていたのでバスに乗った。
すぐに降ろされた。
なんで！！？
バスのおにいさんという、「帰りは5時に来るから5時までは戻ってきてね。」だと。
きょとよししながら歩くと馬糞と馬が尻山。
「あゝ力軍みたいな？馬軍？。。」と思い、乗り場らしき小屋を覗いた。
懸命に行き先を伝えるとおばちゃんが軍手をくれた。
？？？軍手？？？はて。。
そしてジェスチャーで、「1人1馬」だという。
いやっ無理でしょ。あきらかに運搬か落馬がオチでしょ。
無理と意思の卒を伝えるとおじさんが一緒にきてくれた。
ほっと安心みしかも白馬高貴すぎるっ

急な岩を越える為に落ちない斜めに必死にカメラバックを守り、川ではおちさんに手綱をなげられる為に息を合わせたり。。楽しかった。
お昼は小屋でカップラーメンを食べることに。（これが激まず）
おぢさんは60度のお酒に小屋のおねいさんの手作り料理。
なんで！！？と思っていたらおねいさんが「食べてみて」とおたしにも出してくれた。
なのでまずいで白飯ももらいラーメンはなかったことにおねいさんの料理をご馳走にもらった☆
うまかった☆☆☆
ごちそうさま

その後も馬に揺られながら山を登る。
撮影してまた馬に揺られて。ばっかばっか。
目的地について川見る。
空気がきれいでも日差しもきれいで清涼しいってりゃありゃしない！！
でもね実際お尻が痛いさ。
帰りも馬か。最初の優雅な気分と打って変わってちょいブルーになったのはいうまでもない。
なぜなら目的地まで4時間かかったのだから。。
これ帰りまた4時間だと思うとね。
そりゃね。
帰りはおぢさんがお花をくれたり、野いちごをくれたりで嬉しかった。
一緒に休憩でふかふかしたり歌ってみたり。。まゝ何を言ってるかはさっぱりだったけど。
鼻歌でね。。少しごまかしてね。

帰りは案の定4時間ちょいかかったさ。
おしりがすりむけてたさ。
そりゃお湯が染みるわけさ。

でもね。帰ったらおいしいご飯が待っていたからね。
幸せだったよ。
何を話していいかわからなかったけども山荘の方々の夕飯はとも楽しかったのです。
これはとお方のおかぢなんですけどもね☆

次の日はもう成都に帰る日。
あゝ帰りたくない。
この新鮮な空気から離れたくない。
帰りはチベットの兄弟に送ってもらった。
珍しい高山の花を見つけたと止まってくれたり、ヤクが見たいといえれば見つけて止まってくれたり。
見晴らしのいいところにも。。
いっぱいいっぱい楽しませてくれた。
おひるもご馳走になるし。。
なんでこんなに優しくしてくれるの！！？って思うほどに優しくかった。

中国にてチベットさんたちの優しさに触れました。

カテゴリ:

post by 山口 ゆま | 日時: 2006.08.31 | [バナーリンク](#) | [コメント\(3\)](#)

gracious.days > 2006年08月 アーカイブ

ばんだに想いを寄せて

中国の四川省にある成都には1週間ぐらいつもりだった。
ほんと。

いざ現地で聞いてみるとバンドがいるわいるわ。何故ならバンドの生息地が四川省に集中してたから。

初日は下見を込めてあひちゃんと一緒に行った。
その日まなかでパンダを見た印象は、ぶりっ子。
奴等は自分が可愛いことを知っている。
心からそう思った。

可愛いんだよ。可愛いんだけど...にくっらしい。

でも彼らは絶滅危惧種。
何故なら。
伐採で住む所をなくしてきたから。
彼らは自分の子供を潰してしまう。
上手く子育てを出来なかつたりする。
そんな不器用さと、人間のせい絶滅危惧種。同時に国宝だ。

中国では毎日の様にパンダを見ていた。
変わらない背景に苦悩し、動かないパンダに苦悩し、竹のベンチが熱い場所。ジャスミン茶が力の源。

成都の「成都大熊猫繁育基地」では、通り過ぎた為か幼年熊貓の飼育員さんと顔見知りにお互いツアー客にしかめっ面だった。
寝ているパンダに向かって1mの距離でフラッシュの嵐。
手を伸ばして檻の中にカメラを突っ込み撮影する人もいた。
パンダの事を思うと心が痛んだ。
きっと飼育員の人も心を痛めているんだろうなと思った。
本来なら人里にはいないはずのパンダが、人の手によって連れてこられ、繁殖を求められている。
そして金銭面の為に一般公開をする。
確実に見せたくはないであろう。

1週間も通うと流石に顔も覚えられるらしく。
最終日にパンダがいる隣の檻に入れてくれた。
ちっさー☆
奥のパンダを撮っていたらなにやら「ぎゅんぎゅん」と鳴き声がある。
シカトしてだが「ぎゅんぎゅん」とやたら耳障りに鳴き声が。
鳴き声の主を探した。。。手前のパンダだ。
しゃらくせえコイツかっ！！と見ると。
「ぎゅん〜」
目が合ってしまった。
目が合うとやむ声、合わせまいと思ったけど。だめね。
嬉しいけどかわいいわ；；

そんなパンダに魅せられて、生息地まで行ってきます。

カテゴリ:

post by 山口 ゆま | 日時: 2006.08.31 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#)

[gracious days](#) > 2006年08月 アーカイブ

06.08.12

ナガルコットの人々

今更ですがネパールの写真です。
見て頂ければ幸いです。

[小学生リサイズ.JPG](#)

道端で会う小学生
カメラを向けるとはにかむ。

[やっほいじいちゃんリサイズ.JPG](#)

病院のドライバーさん
孫を嬉しそうに見せてくれた。

[おばあちゃんリサイズ.JPG](#)

いつも座っているおばあちゃん
手を引っ張って横に座らせてくれた。
通る度に笑顔で手を振ってくれる。
優しい笑顔に嬉しくなる日々でした。

[アンニュイ子供リサイズ.JPG](#)

とあるお店の子供
出会った時は泣いていたけどカメラを見たら泣きやんだ。
その後は可愛く笑顔でまぢきゅんとした。

[リサイズにばにわ兄ちゃん.JPG](#)

にばにわロッヂの従業員
とても優しく笑顔が素敵な方。

[花レンガリサイズ.JPG](#)

花レンガ
地元の海の近くにも咲いているお花で懐かしく思った。

[野菜おばちゃんリサイズ.JPG](#)

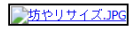
バス停の近くでお夕飯を作っていたおばちゃん
写真を撮っていたら青とうがらしと生ニンニクを頂きました。

[赤ちゃんリサイズ.JPG](#)

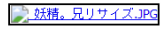
赤ちゃん
なかなか笑わない。
一度抱かせてもらった時に一瞬突如に笑ったのみ笑。

[バスのおにいちゃんリサイズ.JPG](#)

バスのお兄ちゃん
よく笑うおちゃめな方。



ぎゃわゆい☆



しゃいな男の子
毎日会っていた。
カメラを向けるとシビアな顔になり、写真を見ると飛びっきりの笑顔を見せる可愛い子でした。



三日月

そんなナガルコットの人々と風景でした。

次こそバンドのブログになりますよ

post by 山口 ゆま | 日時: 2006.08.12 | [パームリンク](#) | [コメント \(3\)](#)

カテゴリ: